

突然やってくる土砂災害。しかし、よく観察してみれば土砂災害にもいくつかの前兆があります。それらの前兆を理解し、いざという時に備えましょう。

土砂災害の種類

土石流



谷や斜面に溜まった土・石・砂などが、大雨による水とともに一気に流れ出す現象。スピードが速く、破壊力も大きいため、広範囲に大きな被害が出る。

地すべり



比較的緩やかな斜面で地中の粘土層などがゆっくりと動き出す現象。一度に広範囲で発生するので、住宅や道路などに大きな被害が出る。

がけ崩れ



地中にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れなどで被害が大きくなる。

土砂災害の前兆現象

土石流

川の流れが濁り、流木が混じり始める。



雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。



山鳴りがする。腐った土の臭いがする。



地すべり

地下水や湧水の急激な変化で、井戸の水が濁る。



地割れができる。(農地や道路・家屋の周辺などに、亀裂が生じる)



斜面から水が噴き出す。(家や樹木、電柱が傾いたり、倒れたりする)



がけ崩れ

がけから小石がパラパラ落ちてくる。



斜面に亀裂やはらみが見られる。



がけから水が湧き出ている。



土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害の恐れのある区域を以下の通り指定しています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に破損が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれのある地域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域